

島津製作所発・知財業務を革新するSaaS「Genzo AI」の衝撃

島津製作所が開発した知財業務自動化SaaS「Genzo AI」の圧倒的な導入効果と、実務に即した独自の強みを伝える。

島津製作所の知財部が自ら開発・運用し、年間1.2億円のコスト削減を実現した知財業務自動化プラットフォーム「Genzo AI」が、2026年4月に外販開始。ペテランのノウハウをプロンプト化し、出願から調査まで知財業務の全工程をカバーします。

実証された圧倒的な導入成果



年間**1.2**億円以上
コスト削減

翻訳や調査などの外部委託費用を大幅にカット。



90%
研究開発の関連工数を削減

FTO(侵害予防調査)などの業務を創的に効率化。



最大**50%**
知財部員の業務負荷を削減

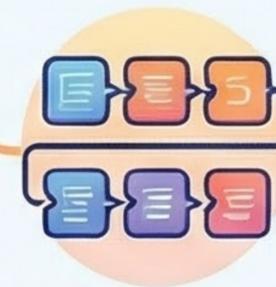
発明届出などの専門的な知的労働をAIが代替。

実務に直結する3つの独自強み



ベテランの「暗黙知」を
プロンプト化

島津製作所の高証な実務ノウハウを
詳細な指示としてAIに実装。



知財業務の全工程を
カバーする6モジュール

出願、翻訳、中間処理から
FTO調査まで、
必要な機能を選択可能。



ユーザー数無制限の
料金体系

ID賦に関わらず利用でき、
全社的な知財活用を促進。



主要機能(モジュール)の紹介



届出・出願
翻訳費料からの
発明産業養付成、
明確害害の検動生成



中間処理
拒納育金通知への
対策構築、
補正案の提示



FTO(侵害予防)
膨張資料から特許の
検索・スクリーニン
グを全自動実行